

## 企画展示関連講演会 「関東大震災と女性たち」

関東大震災をはじめとして、震災からの復興には多くの人たちの力が必要となりました。

女性たちは災害や喪失に向き合うなかで、どのように復興に関わってきたのでしょうか。

さまざまな場面での意思決定に女性が参画することが、女性にとっての権利でありかつ社会にとって不可欠とされる今、山川菊栄文庫をはじめとした当館資料を基に、震災と女性について考えます。

※企画展示「関東大震災100年 神奈川県被害と復興」は12月13日（水）まで開催中です。



〔関東大震災〕追善納札  
(浜菱連)より

### 講師 栗田 隆子氏（文筆家）

1973年生まれ。神奈川県出身。大阪大学大学院で哲学を学び、シモーヌ・ヴェイユを研究。その後、非常勤職や派遣社員などのかたわら女性の貧困問題や労働問題を中心に新聞・雑誌などで発言。著書に「呻きから始まる 祈りと行動に関する24の手紙」（新教出版社 2022）、「ぼそぼそ声のフェミニズム」（作品社 2019）など。



開催日

令和5年11月19日(日曜日) 14時から16時まで

会場

神奈川県立図書館 本館4階 学び⇄交流エリア

定員

40名 (申込多数の場合は選考)

申込期間

10月11日(水)～11月1日(水) ※必着 申込方法は裏面をご確認ください

お問合せ

神奈川県立図書館 企画協力課 045-263-5900(代表)

# 11月19日（日） 企画展示関連講演会「関東大震災と女性たち」

## 申込方法 ※事前申し込み制

- 1名毎のお申込みになります。
- 「e-KANAGAWA電子申請システム」よりお申込みください。メールで受講の可否を返信いたします。
- 葉書、FAX、カウンターでのお申込みは無効となります。ご注意ください。

ホーム > 県立図書館 > イベント（県立図書館）  
右の二次元バーコードからアクセスできます。



申込期間：令和5年10月11日(水)～11月1日(水)必着



## 企画展示「関東大震災100年」

神奈川県ゆかりの女性活動家、山川菊栄（1890—1980）が震災の翌々に家族に宛てた手紙を展示しています。その後山川一家は安全を考慮して兵庫県垂水に逃れます。現代もどこかで起きている震災時の様々な問題を考えます。

## 栗田隆子氏 著書

「呻きから始まる 祈りと行動に関する24の手紙」（新教出版社 2022）、「ぼそぼそ声のフェミニズム」（作品社 2019）。共著に「未来からきたフェミニスト 北村兼子と山川菊栄」（花束書房 2023）、「高学歴女子の貧困 女子は学歴で「幸せ」になれるか？」（光文社 2014）など。  
※すべて神奈川県立図書館に所蔵あり。



## アクセス

JR・市営地下鉄桜木町駅より徒歩10分／京浜急行線日ノ出町駅より徒歩13分  
みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩20分

## 図書館開館時間

火～金 9時～19時（毎月第2木曜日は休館）  
土・日・祝 9時～17時（祝・休日の月曜日を含む）  
※詳しくは図書館HPをご覧ください。



## 神奈川県立図書館

〒220-8585 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2  
TEL.045-263-5900(代表) FAX.045-241-0985  
図書館ホームページ <https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/yokohama/>

県立図書館HP kanagawa\_lib kanagawa\_lib

